

平成 27 (2015) 年度

学校要覧

クイーンズランド補習授業校



THE JAPANESE SUPPLEMENTARY SCHOOL OF QUEENSLAND

平成 27 年度 学校要覧

目 次

1. ごあいさつ
2. 組織
3. 沿革
4. 教育内容、学校での決まり、その他の案内
5. 学級担任一覧、在籍児童生徒数
6. 安全対策
7. 年間行事予定表
8. 免責証書（英文）
9. 免責証書（和訳）
10. クイーンズランド日本語補習授業校規則
11. 保護者会規約
12. 年間授業計画（概略）

1. ごあいさつ

クイーンランド補習授業校の歴史は、昭和51年にクイーンランド大学の内山加代子先生らのご尽力により、ブリスベン補習授業校設立の準備が開始されたことに始まります。その後、平成6年にゴールドコースト日本語補習授業校と統合し、今日に至るまでクイーンズランド日本語補習授業校として多くの方々に支えられながら運営が続けられてまいりました。思えば、発足から35年に渡る歴史を刻んできたこととなります。その間、その時々在校生、教員、保護者が一体となって補習校の運営に携わってきました。補習校の特徴は、まさにこの点にあります。次代を支える日本人子女を育てるために「皆で助け合っていく」という協力の精神とそれに対する人々の熱意こそが補習校の力の源であり、姿です。裏を返せば、在校生、教員、保護者の助け合いという三位一体関係が崩れると、学校としての機能を失ってしまうのが補習校です。現在、世界には203校の補習授業校があります。どの補習校もこの難しさを抱えています。補習校は、週1回だけの学校であるため専用の校舎を持っているところはほとんどありません。また、教員も授業日以外は他の仕事を持ちながら授業の準備をしています。一般の保護者も役員も日頃の安全指導やら学習指導の手伝いやら図書係やら、はたまた行事の準備やらと専任教員のように働きます。もちろん、すべてボランティアです。幸いなことに、これらの人々の奉仕の精神は、多くの共感を生み、地域日本人社会の中に補習校を取り巻く温かな空間を形成しています。子供たちも大人たちのそのような精神に応えようと一生懸命勉強しています。

補習校は、日本の学校教育法、学校教育法施行規則、文部科学省学習指導要領に基づいて〈日本人にふさわしい教育〉を提供する在外教育施設です。同等にはできないにせよ、学習指導はもとより、生活指導や行事などの特別活動も日本国内の学校に準じて行われます。特に、学習指導においては、検定教科書を用いて、文部科学省が補習校のために作成した指導計画を参考に、日本国内の学校とほぼ同じ進度で進められます。行事についても、日本的な入学式や卒業式はもちろん、唱歌を歌ったり、子どもの日や七夕などの文化を学ぶ集会を始め、日本的な運動会や補習校祭りなどがあります。本校の場合、ゴールドコースト校の子どもたちがいちばん楽しみにしている行事は運動会で、ブリスベン校の子どもたちが楽しみにしているのは、補習校祭りです。どちらも日本を体感できるだけでなく、学ぶものがある大切な行事です。現地校での勉強だけでも大変な中を、準備をして土曜日に補習校に通うことは辛いことでしょう。しかし、子どもたちは、平日に日本の子どもたちがする1週間分の学習を家庭でお母さんと担任に支えられながら、よくこなしています。

皆の協力という宝を大切に、これからも補習校の子供たちを皆で温かく見守っていきましょう。

第7代校長 丸山吉信

2. 組織

(1) クイーンズランド補習授業校ブリスベン校

運営母体：ブリスベン日本クラブ(The Japanese Club of Brisbane)

運営主体：クイーンズランド補習授業校ブリスベン校運営委員会

運営委員会メンバー：運営委員長、運営副委員長、ブリスベン日本クラブ会長、校長、
教頭、保護者会長、保護者会副会長、副領事（オブザーバー）

借用校舎：インドロピリー州立高校(Indooroopilly State High School)

Ward Street, Indooroopilly, QLD4068, AUSTRALIA

事務所：The Japanese Club of Brisbane/The Japanese School of Brisbane

Suite 17, Taringa Professional Centre, 180 Moggill Road, Taringa, QLD4068

Tel: 07-3870-0360 Fax: 07-3871-0316 URL: <http://jc-b.com>

Email: jcbi@westnet.com.au (事務) jlssq@westnet.com.au (校長)

(補習校事務は、火曜日および木曜日 9:00~17:00)

(2) クイーンズランド補習授業校ゴールドコースト校

運営母体：ゴールドコースト日本人会(The Japanese Society of the Gold Coast)

運営主体：クイーンズランド補習授業校ゴールドコースト校運営委員会

運営委員会メンバー：運営委員長、運営副委員長、ゴールドコースト日本人会
会長（代理）、校長、保護者会会長、保護者会副会長2名、
副領事（オブザーバー）、有識者（オブザーバー）

借用校舎：オールセイントスアングリカンスクール(All Saints Anglican School)

Highfield Drive, Merrimac, QLD4226, AUSTRALIA

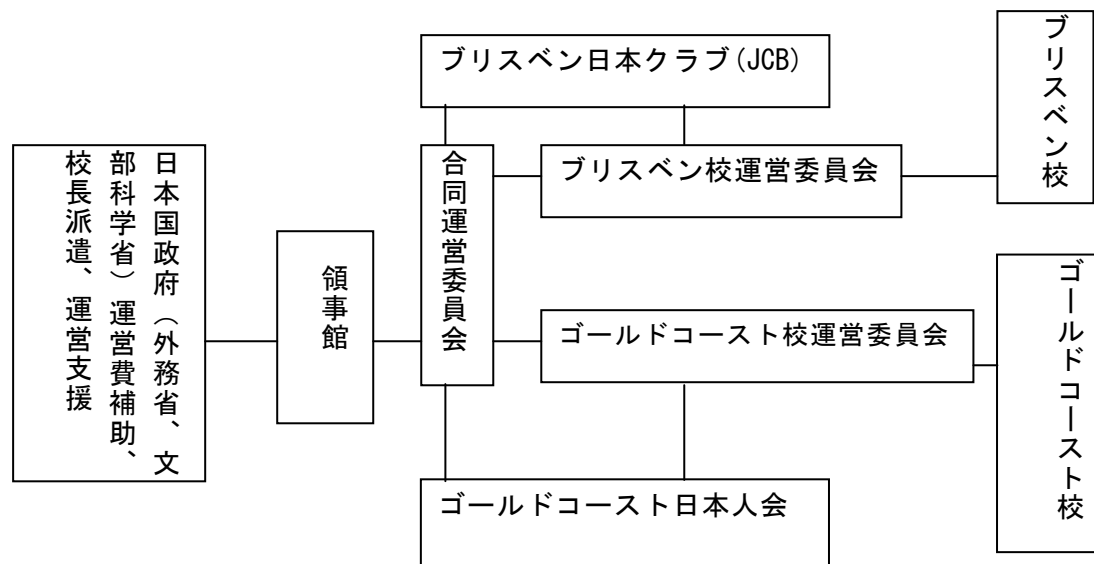
事務所：The Japanese Society of the Gold Coast/ The Japanese School of Gold Coast

25 Mawarra Building, 3108 Gold Coast Highway, Surfers Paradise, QLD4217

Tel: 07-5531-6661 Fax: 07-5592-4794 URL: <http://jsgc.org.au>

Email: jlssqnishida@live.com.au (事務) jlssq@westnet.com.au (校長)

(補習校事務は、水曜日および金曜日 9:00~16:00)



3. 沿革

昭和 51 年 1 月	ブリスベン補習授業校設立準備開始
昭和 51 年 12 月	学校運営委員会設置
昭和 52 年 2 月	小学部設置、クイーンズランド大学にて授業開始
昭和 53 年 3 月	国際学級設置
昭和 54 年 1 月	授業を午前に変更
昭和 57 年 10 月	中学部設置
昭和 61 年 3 月	補習校開校 10 周年記念パーティを開催
平成 2 年 4 月	セント ピーターズ カレッジに校舎移転
平成 3 年 4 月	ナジ ジュニア カレッジに校舎移転
平成 4 年 1 月	鳩山文部大臣来校
平成 4 年 4 月	文部省派遣初代校長、小林省三着任。学校事務所開設 運営委員長 田原修二（日商岩井）就任
平成 4 年 7 月	遠足実施（羊の毛刈り等を見学）
平成 4 年 9 月	ゴールドコースト地区で日本語学校開設
平成 4 年 10 月	社会科見学実施（エベネザ鉱山見学）
平成 5 年 3 月	学校事務所をタリंगा地区に移転
平成 5 年 4 月	運営委員長 梶本昭夫（住友商事）就任
平成 5 年 4 月	ゴールドコースト日本語補習校設立
平成 5 年 7 月	ブリスベン校校歌、校章作成
平成 5 年 10 月	社会科見学：キンビーミングミュージアム
平成 5 年 12 月	ゴールドコースト校への支援開始
平成 6 年 2 月	統一校準備委員会開催
平成 6 年 4 月	クイーンズランド日本語補習授業校設立
平成 7 年 4 月	文部省派遣第二代目校長、互井俊之着任
平成 7 年 10 月	社会科見学：ブリスベン空港
平成 8 年 4 月	ゴールドコースト校幼稚部再開
平成 8 年 10 月	校外学習：ワイルドフレイズパーク
平成 9 年 11 月	校外学習：パラダイスカントリー
平成 10 年 4 月	文部省派遣第三代目校長、友部政勝着任
平成 10 年 10 月	校外学習：ノースパインカントリーパーク
平成 11 年 10 月	校外学習：ワイルドフレイズパーク（低学年）、 キングズヒンターランド（高学年）
平成 12 年 10 月	校外学習：盲導犬訓練センター
平成 13 年 4 月	文部科学省派遣第四代目校長、梶田悦朗着任

平成 13 年 10 月	校外学習：パラダイスカントリー（低学年）、エベネザ鉱山
平成 14 年 6 月	校外学習：ワイベンホーダム（ブリスベン校）
平成 14 年 10 月	サンダーバードパーク（ゴールドコースト校）
平成 15 年 8 月	創立 10 周年記念運動会
平成 15 年 10 月	校外学習：オーストラリア動物園（両校）
平成 16 年 4 月	文部科学省派遣第五代校長、永島昭雄着任
平成 16 年 4 月	校外学習：マウントクーサボタニカルガーデン（ブリスベン校） クイーンズランド博物館（ゴールドコースト校）
平成 17 年 10 月	校外学習：イプスウィッチレイルウェイミュージアム（BNE 校） カランビンワイルドライフサンクチュアリ（GC 校）
平成 18 年 7 月	校外学習：カランビンワイルドライフサンクチュアリ（BNE 校）
平成 18 年 8 月	校外学習：イプスウィッチレイルウェイミュージアム（GC 校）
平成 19 年 7 月	校外学習：サイエンスセンター博物館サウスバンク、パークラ ンド（BNE 校）
平成 19 年 8 月	校外学習：マウントクーサプラネタリウム（GC 校）
平成 20 年 4 月	文部科学省派遣第六代校長、大戸隆明着任
平成 20 年 9 月	ブリスベン校、ゴールドコースト校合同運動会（於：インドロピ リーステートハイスクール）
平成 20 年 10 月	屋外活動「なかよし広場」実施（BNE 校）
平成 20 年 10 月	校外学習：トロピカルフルーツワールド（GC 校）
平成 21 年 5 月	屋外活動「なかよし広場」実施（BNE 校）
平成 21 年 8 月	GC 校運動会（於：オールセインツアングリカンスクール）
平成 21 年 10 月	GC 校校外学習：ヘレンズベール消防署
平成 22 年 5 月	屋外活動「なかよし広場」実施（BNE 校）
平成 22 年 9 月	GC 校校外学習：カランビンサンクチュアリ
平成 22 年 11 月	GC 校校外学習：ヘレンズベール消防署
平成 23 年 6/8 月	屋外活動（BNE 校「なかよし広場」）
平成 23 年 10 月	GC 校運動会（於：オールセインツアングリカンスクール）
平成 24 年 4 月	文部科学省派遣第七代校長、丸山吉信着任
平成 24 年 5 月	BNE 運営委員長、湯浅洋一（丸紅）就任 GC 運営委員長、高見澤裕紀就任
平成 24 年 5 月	屋外活動「なかよし広場」（両校で実施）
平成 24 年 8 月	GC 校運動会（於：オールセインツアングリカンスクール）
平成 25 年 3 月	GC 校補習校祭り・絵画展実施
平成 25 年 5 月	BNE 運営委員長、吉成雄一郎（三菱デベロップメント）就任 GC 運営委員長、高見澤裕紀留任

平成 25 年 6 月	両校「お弁当広場」実施
平成 25 年 8 月	GC 運動会（於：オールセインツアングリカンスクール）
平成 25 年 9 月	BNE 補習校祭り
平成 25 年 10 月	BNE 運動会（於：インドロピリーステートハイスクール）
平成 25 年 11 月	GC 補習校祭り・絵画展実施
平成 26 年 2 月	BNE 校 NHK テレビ『世界に広がる「花は咲く」』収録
平成 26 年 4 月	BNE 理数年プロジェクト実施
平成 26 年 5 月	BNE 運営委員長、鶴見将彦（伊藤忠）就任 GC 運営委員長、森たみこ就任
平成 26 年 8 月	BNE 運動会（於：インドロピリーステートハイスクール） GC 運動会（於：オールセインツアングリカンスクール）
平成 26 年 10 月	BNE 補習校祭り実施（於：体育館）
平成 26 年 11 月	GC 補習校祭・絵画展実施（於：全校朝会広場）
平成 27 年 4 月	BNE 理科社会学習日設定
平成 27 年 5 月	BNE 運営委員長 三好裕嗣（コーワ）就任 GC 運営委員長 安藤由香利（ウェストパック銀行）就任
平成 27 年 6 月	BNE 校「学級活動」として教室、トイレ掃除開始

4. 教育内容、学校での決まり、その他の案内

【本校の特色】

クイーンズランド補習授業校は、文部科学省在外教育施設で、ブリスベン日本クラブ(JCB)を運営母体とするブリスベン校とゴールドコースト日本人会を運営母体とするゴールドコースト校との二つの補習校から成っています。二つの運営母体から成る補習校は、世界中にある 202 校の補習校の中でも本校だけです。ブリスベン校の運営はブリスベン校運営委員会、ゴールドコースト校の運営はゴールドコースト校運営委員会が担当し、両校を合同運営委員会が統括しています。各校運営委員会のメンバーは、それぞれの日本人会からの代表者、保護者会代表者、文科省派遣教員、領事館代表者などにより構成されています。また、合同運営委員会は、両日本人会長を含むブリスベン日本人会、ゴールドコースト日本人会よりそれぞれ 4 名の委員、補習校校長、在ブリスベン日本国総領事館からのオブザーバー 1 名から成っています。

文部科学省は、補習授業校の設置目的を次のように説明しています。

「補習授業校は、現地校に通学する児童生徒が再び日本国内の学校に編入した際にスムーズに適應できるよう、基幹教科の基礎的・基本的知識・技能および日本の学校文化を日本語によって学習する教育施設である。」

（参照 URL：http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/003/002/001.htm）

したがって、校名は「日本語補習校」ではありませんが、日本語教育を提供する教育施設ではなく、学習指導要領に基づいて日本の学校教育を提供する教育施設です。

本校は、幼稚部（年長）、小学部、中学部に両校それぞれ約 200 名が在籍しており、このうち大部分は小学部に属しています。

【教育目標】

本校の教育課程は、文部科学省学習指導要領の指針および指導の重点、加えて、海外にあることを十分に活かした学校教育目標および学校の方針と重点を受けて編成する。

(1) 教育目標

人間尊重の精神を基本として、日本人としての国民的自覚を持つとともに、国際社会に生きる品位と実力とを備え、社会の発展に寄与するたくましい実践力のある人間の育成を目指す。このため、次の目標を設定する。

- ① よく考え、自分で学ぶ子
- ② ねばり強く、最後まで頑張る子
- ③ どの国の友達とも仲良くできる子

<教育目標を達成するための基本方針>

- ① 基礎的、基本的な内容を重視し、個に応じた学習指導方法の工夫と改善に努める。
- ② 児童が生き生きと意欲的に学校（現地校、補習校）生活を送ることができるようにするために、児童生徒相互、児童生徒と教員、教員相互の豊かな人間関係の確立に努める。
- ③ 現地校においては、交流の機会を活かし、国際理解を深めるとともに、補習校においても日本語の能力の伸長を図り、学校行事等を通して家庭や地域との連携を密にして、我が国の文化や伝統についての理解を深める。

(2) 指導の重点

- ① 「生きる力」
自ら考え、自ら学び、自分の力で生きる下地を育む。
- ② 道徳教育
学校教育全体を通じてこれを行う。
- ③ 教科指導
個性を伸ばす指導の徹底を図り、各教科の基礎的基本的内容を確実に身につけさせる。
- ④ 特別活動
ア) ひとりひとりが十分に活動できる場を設定し、体験を通して主体的に取り組む能力や態度の育成を図る。
イ) 集団活動の中で、他を尊重し、自己を生かす能力や公共に奉仕する実践力を身につけさせる。
- ⑤ 生活指導、進路指導
ア) 児童生徒ひとりひとりを正しく理解し、実態に即した指導が図れるように努める。
イ) 将来への目当てをもって自己の進む道を選択できるように、家庭との連携を取りながら指導の充実に努める。

【授業】

(1) 授業日

別途「年間行事予定表」に定められた土曜日、年間 40 日

(2) 教科

幼稚部：日本語の歌、数遊び、読み聞かせなど小学部1年生への準備

小学部：国語、算数

中学部：国語、数学

(3) 時間割

登校：8時45分

全校朝会または学級活動：8時50分～9時05分

第1校時：9時10分～9時50分

第2校時：9時55分～10時35分

中休み：10時35分～10時55分

第3校時：10時55分～11時35分

第4校時：11時40分～12時20分

(2015年度のブリスベン校では、上記の他に年2回理科学習を第5校時(12:55～13:40 第6校時(13:45～14:30)に実施)

<洪水休校などによる補講実施日の時間割>

5校時：12:50～13:30

6校時：13:35～14:15

(4) 学期

第1学期：4月～6月

第2学期：7月～9月

第3学期：10月～12月

第4学期：1月～3月

【学校での決まり】

(1) 次のことを守りましょう。

- ① 教科書、ノート、筆記用具はいつも持参し、宿題などの提出物を確かめて登校しましょう。
- ② 食べ物は持って来ません。飲み物は水筒に水かお茶を入れましょう。
- ③ 学習にふさわしい服装で登校しましょう。
- ④ 必要以上のお金や貴重品は持って来ません。
- ⑤ 学校のものは大切にしましょう。
- ⑥ 友達や先生にあいさつをしましょう。
- ⑦ 時間を守りましょう。
- ⑧

(2) 教科書、ノートについて

- ① 国語と算数(数学)の教科書を持って登校します。
- ② 教科書は基本的に補習校から配布します。ただし、教科書需要調査は前期教科書については前年度の10月に、また、後期教科書についてはその年の5月中旬に実施されますので、その時点よりも遅く補習校に編転入してきた場合には、各自で領事館に教科書申請書を提出しておいて下さい。尚、日本からの転入生は、海外子女教育振興財団で教科書を受領して来て下さい。

- ③ ノートについては、下表記載の本校標準ノートを各自ご用意下さい。

タイトル	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中学生
国語	10マス 22ミリ	12マス 18ミリ	15マス 15ミリ	18マス 12ミリ	17行	17行	大学ノート
算数 (数学)	7マス 18ミリ	17マス 12ミリ	22行 10ミリ 横罫	27行 8ミリ 横罫	27行 8ミリ 横罫	27行 8ミリ 横罫	大学ノート
漢字練習	50字 22mm (リーダー入り)	84字 18mm (リーダー入り)	91字 17mm (リーダー入り)	120字 14mm	200字 11mm	200字 11mm	

注1) 日本に帰国の際に購入されるか、不二マートでお買い求め下さい。

(3) 図書室の利用

- ① 借用校舎内に図書室があり、それぞれの校舎に約3000冊の日本の本があります。
- ② 一回に一人3冊まで借りられます。貸出期間は2週間です。長期休暇前の貸し出しは、ブリスベンが6冊、ゴールドコーストが3冊までで、返却は休暇明けの最初の授業日になります。
- ③ 借りるときと返却するときは、図書担当者にバーコードをスキャンしてもらいます。

【その他の案内】

(1) 教育相談

年間行事予定表に教育相談期間を定めています。この期間を利用して、学級担任と話し合うことができます。また、校長が進路や学習についての相談を事務所で行っていきますので、事務所までご連絡下さい。さらに、海外子女教育振興財団や大手企業には専門の相談員がいますので、相談することができます。

(2) 通信学習

海外子女教育振興財団では、海外在留邦人のために通信教育を行っています。幼児コース、小・中コース、高校生小論文コースがあります。このうち、小・中コースは文科省からの補助が出されているため、格安料金になっています。国語、算数、理科、社会の4教科で1か月あたり¥4,500です。国語と算数のみ、または理科と社会のみの2教科受講も可能です。詳しくは、下記のURLをご参照下さい。

<http://www.joes.or.jp/tsushin/>

(3) 提出書式

① 「退学願」

補習校を退学するときは、必ず「退学願」を提出して下さい。学年途中での退学はもとより、学年末に退学し、次の学年への進級を希望しない場合も提出して下さい。また、6年生で中学に進学しない場合も「退学願」の提出が必要となります。

② 転出書類

学年途中で日本の学校や他の補習校、日本人学校に転出する際には、「在学証明書」と「教科書給与証明書」を転出先に提出しなければなりません。補習校事務所にお問い合わせ下さい。

③ 長期休暇を利用して日本国内の学校に体験入学をする場合は、補習校からの「体験

入学依頼状」を必要とする場合があります。補習校事務所にお問い合わせ下さい。

④進学先報告書

小6、中3の卒業生が日本国内の学校に進学した場合には、5月に文科省の調査がありますので、進学先をメールで報告して下さい。

(4) 登下校の注意

- ① 児童生徒の安全確保のため、保護者による送迎を義務とします。
- ② 朝は、8時45分までに登校させて下さい。
- ③ ブリスベン校の中庭への車の進入は禁止されています。
- ④ ゴールドコースト校の構内は、時速15km以下の速度を厳守して下さい。また、一時停止も厳守願います。

(5) 入学手続き

入学および編転入を希望する場合は、「新規・継続入学要項」を熟読の上、必要書類の提出と納付金の納入をして下さい。4月入学の場合も途中編入の場合も面接試験の受験が必要になります。内部進学者の選抜は別に定められています。

(6) 募集人員

募集人員は各学年とも毎学年度の「新規・継続入学要項」に記載されています。

(7) 入学資格

- ① 基本的日本語能力および基本的生活習慣を備えている子女であること。
- ② 補習授業校の設置目的、役割を理解している保護者の子女であること。
- ③ ブリスベン校はブリスベン日本クラブ(JCB)会員の子女であること。ゴールドコースト校はゴールドコースト日本人会会員の子女であること。
- ④ 日本の義務教育該当年齢(中学部1年入学生4月2日現在で満12歳以上、小学部1年入学生は4月2日現在で満6歳以上)、幼稚部入学生は4月2日現在で満5歳以上の子女。

(8) 納付金

(下記授業料は、2015年度(平成27年度)においても日本政府からの補助金が昨年同様に支給される事を前提としております。)

<平成27年度ブリスベン校>

納付金(入学金・授業料)合計

入学金(新規入学者のみ)	\$50(GST 込)
年間授業料(幼稚部)	\$1,158.00(GST 込)
年間授業料(小学部)	\$1,042.00(GST 込)
年間授業料(中学部)	\$1,148.00(GST 込)
幼稚部合計(入学金を含む)	\$1,208.00(GST 込)
小学部合計(入学金を含む)	\$1,092.00(GST 込)
中学部合計(入学金を含む)	\$1,198.00(GST 込)

注1) 授業料は一括払いに加え、前・後期(年2回)分割払い、各学期(年4回)の分割払いが可能です。ただし、分割払いの場合、2回目以降の支払いについては1回あたり事務手数料\$50.00を各回申し受けます。

<分割払い時1回あたり金額>

※2回目以降は事務手数料\$50を加算してください。

	幼稚部	小学部	中学部
2回払い(前後期)	\$579.00	\$521.00	\$574.00
4回払い(各学期)	\$289.50	\$260.50	\$287.00

注2) ブリスベン校再入学は、上記の他、再入学手数料\$100

<平成27年度ゴールドコースト校>

納付金一覧

支払回数	第1子	第2子以降
1回払い	\$990	\$970
2回払い	\$510	\$500
4回払い	\$270	\$265

- ・上記に加え、新入学者および再入学者には入学金として\$50を申し受けます。
- ・上記に加え、文集代として\$25を手続き時に申し受けます。
- ・途中退学による返金はありません。
- ・上記の学費の内訳は、授業料\$930+保険代\$10+教材費\$50になります。従って、授業料は、授業1時間当たり\$5.81、1日当たり\$23.25になります。
- ・分割払いの場合でも、保険代、教材費、文集代の差引はありません。

5. 学級担任一覧、在籍児童生徒数(平成27年6月18日現在)

<ブリスベン校>

幼稚部担任:	ベリス裕子	在籍: 20名
小1-1担任:	トンプソン正子	在籍: 17名
小1-2担任:	田中美鈴	在籍: 16名
小2-1担任:	赤田卓美	在籍: 17名
小2-2担任:	青木友起子	在籍: 17名
小3-1担任:	高橋清美	在籍: 17名
小3-2担任:	一宮フォックス香	在籍: 16名
小4担任:	中尾みどり	在籍: 17名
小5担任:	大高和子	在籍: 15名
小6担任:	濱副喜久子	在籍: 10名
中1担任:	小村芳也	在籍: 12名
中2担任:	中川 進	在籍: 4名
中3担任:	クリソウド玲子	在籍: 9名
合計:		187名

<ゴールドコースト校>

幼稚部担任:	勝村晶子	在籍: 12名
小1担任:	橋本福子	在籍: 25名
小2担任:	小野木枝美	在籍: 15名
小3担任:	エリス美紀	在籍: 23名
小4担任:	ヒバード一恵	在籍: 18名

小5担任：	黒田夕紀	在籍：23名
小6担任：	奈良勝子	在籍：14名
中1担任：	富田温子	在籍：16名
中2担任：	ローリンソン真紀子	在籍：4名
中3担任：	橋本建二	在籍：9名
合計：	159名	

6. 安全対策

補習校では、保護者会で学校当番を定め、児童生徒の安全確保、緊急時の対応をしています。

I. 当番の仕事

交通安全指導、応急処置、巡回

II. 病気、事故への対応

(1) 担任→応急処置当番→担任→家庭への報告

(2) 担任→応急処置当番→家庭への連絡→病院

III. 事件、災害

対策本部設置（校長、教頭、運営委員会）→警察→領事館および文部科学省への緊急報告

緊急時連絡携帯電話：BNE当番： 0431-801-314

GC当番： 0405-778-201

校長携帯： 0423-421-505

7. 2015 年度年間行予定表

学期	月	日	行 事	回数	校長 勤務
第1学期	4	18	両校始業式、学級ガイダンス、BNE 教員研修、BNE 運営委	1	BNE
		5	2 両校入学式、GC 教員研修、	2	BNE/GC
	6	9	GC 子供の日集会、BNE 休校（借用校行事のため）、GC 運営委	3	GC
		16	BNE 子供の日集会、BNE 保護者会総会、BNE 補講	4	BNE
		23	BNE 補講、GC 授業参観、GC 保護者会総会	5	GC
		30	BNE 避難訓練、BNE 授業参観、BNE 運営委	6	BNE
		6	6 GC Open Day、BNE 理社学習日（下校 14:30）	7	GC
		13		8	BNE
		20	両校教育相談開始（～10/24）、GC 避難訓練、GC 運営委	9	GC
		27	第1学期終業式、海外子女作文締切	10	BNE
第2学期	7	11	第2学期始業式、両校七夕集会、GC 教員研修	11	GC
		18	BNE 教員研修、BNE 運営委	12	BNE
		25		13	GC
	8	1		14	BNE
		8	GC 運動会	15	GC
		15	BNE 運動会	16	BNE
		22	BNE 社会科学学習日	17	GC
	9	29		18	BNE
		5		19	GC
		12	文集原稿締切	20	BNE
19		第2学期終業式、成績通知表配布	21	GC	
第3学期		10	3	第3学期始業式、BNE 教員研修	22
	10		GC 教員研修	23	GC
	17			24	BNE
	11	24		25	GC
		31	BNE 補習校祭り	26	BNE
		7	GC 入学説明会・出願受付開始、GC 授業参観、GC 学校評価	27	GC
		14	BNE 入学説明会・出願受付開始、BNE 授業参観、GC 学校評価	28	BNE
		21	GC 補習校祭り・絵画展	29	GC
		28	BNE 理社学習日（下校 14:30）	30	BNE
		5	両校新入生願書締切	31	GC
12	12 第3学期終業式、BNE 幼稚部入試	32	BNE		
第4学期	1	23	第4学期始業式、両校お正月集会	33	GC
		30	BNE かるた・百人一首（幼稚部：豆まき）	34	BNE
	2	6	GC かるた・百人一種（幼稚部：豆まき）、BNE 社会科学学習日	35	GC
		13	BNE 教員研修	36	BNE
		20	GC 教員研修	37	GC
	3	27		38	BNE
		5	GC 卒業式	39	GC
		12	BNE 卒業式、両校第4学期終業式、成績通知表配布	40	BNE

注) BNE:ブリスベン校 GC:ゴールドコースト校

8. 免責証書 (英文)

DEED OF RELEASE

To:

Japanese Club of Brisbane Inc. and the Japanese Society of Gold Coast Inc. ("Governing Body")

By: _____(name of parent(s) or guardian(s))

In consideration of the Governing Body accepting the enrolment of ("**Student**") in the Japanese Language Supplementary School of Queensland ("**Queensland Hoshuko**") at my/our request, I/we hereby covenant and agree as follows:

1. That, to the fullest extent permitted by law, the Governing Body's and Queensland Hoshuko's teachers, officers, servants and other agents (collectively "**School Related Parties**") are not liable for any loss, damage, cost or expense incurred or suffered by me/us and/or the Student caused by or arising out of anything related to or in connection with activities of the Queensland Hoshuko, including but not limited to:

- (a) any illnesses or injuries suffered by the Student;
- (b) accidents of all descriptions that involve the Student;
- (c) anything related to participation by the Student in any activity, function or event (such as a sport day and school excursion) connected to, or involved or associated with the Queensland Hoshuko;
- (d) anything related to the Student's enrolment with the Queensland Hoshuko.

2. To the fullest extent permitted by law, to waive all and any claims, actions, suits and demands which I/we and the

Student would be entitled to make against any of the School Related Parties in respect of anything described in paragraph 1 above but for this deed.

3. To authorise any of the School Related Parties to seek and obtain any medical assistance, treatment or advice any of the School Related Parties considers necessary or desirable for the health and wellbeing of the Student, and to pay or reimburse the relevant School Related Parties all cost or expenses incurred for such medical assistance, treatment or advice.

4. That this deed may be used by any of the School Related Parties to plead in bar to any action, claim, suit, and demand made against it at any time by me/us and/or the Student.

5. That I/we will take all necessary steps to ensure that I/we and the Student abide by and respect the policies and rules of the Queensland Hoshuko, and that the Queensland Hoshuko retains the right to expel any Student who, in its opinion, contravened such policies and rules.

6. That the Queensland Hoshuko may determine matters such as courses, facilities and materials to be made available to the Student based on reasonable and equitable allocation of the resources of the Governing Body.

7. To notify the Queensland Hoshuko in writing the following if it occurs:

- (a) that the Student suffers a serious injury or develops disability; and

(b) any change in the Student's family circumstances.

Executed as a Deed

Signed, Sealed and Delivered by the undersigned.

Signature of Parent(s)/Guardian(s)

Full Name of Parent(s)/Guardian(s)

Signature of Witness

Full Name of Witness

Dated / / _____

9. 免責証書（和訳）

免責に関する同意書

日本語訳

ブリスベン日本クラブ

ゴールドコースト日本人会 御中

〔保護者氏名〕は、ブリスベン日本クラブ/ゴールドコースト日本人会が運営するクィーンズランド補習授業校（以下、「クィーンズランド日本語補習校」といいます。）への〔児童・生徒名〕（以下、「児童・生徒」といいます。）の入学にあたり、以下のとおり同意します。

1. 法律が認める最大限の範囲において、クィーンズランド日本語補習校の活動に関連する事由（下記の(a)、(b)、(c)および(d)に記載する事項を含みますが、これに限りません。）によって私達または児童・生徒が蒙った如何なる損失、損害、支出、費用に関して、ブリスベン日本クラブ/ゴールドコースト日本人会及びクィーンズランド日本語補習校、ならびにそれらの教員、役員職員、その他の関係者（以下、まとめて「クィーンズランド日本語補習校及びその関係者」といいます。）が一切責任を負わないこと

(a) 児童生徒の怪我、病気

(b) 事故

(c) クィーンズランド日本語補習校の関連する活動（運動会、遠足など）への児童生徒の参加に関連する事由

(d) 児童生徒のクィーンズランド日本語補習校への入学に関連する事由

2. 法律が認める最大限の範囲において、児童・生徒及び保護者がクィーンズランド日本語補習校及びその関係者に対して有する損害損失賠償等を請求する権利を全面的に放棄すること

3. 児童・生徒の怪我、病気などの際、必要と思われる適切な医療処置をクィーンズランド日本語補習校及びその関係者が手配すること及びその際の必要な経費を全て負担すること

4. 私達及び児童生徒がクィーンズランド日本語補習校及びその関係者に対して損害賠償等の訴えを起こした場合には、クィーンズランド日本語補習校及びその関係者がこの同意書を裁判所に提出する用意があること

5. 私達が、児童生徒と共にクィーンズランド日本語補習校の方針やルールを守るこ

とを保証し、ルールに反する行動などをとる生徒を退学させる権利をクィーンズランド日本語補習校が有すること

6. ブリスベン日本クラブ/ゴールドコースト日本人会の適切な予算の割り当てに基づいて、児童生徒が享受できる学科及び施設、教材などをクィーンズランド日本語補習校が決定できること

7. 下記の状態が起きたときはクィーンズランド日本語補習校に書面で通知すること

- (a) 児童生徒が深刻な怪我をしたとき、身体障害になったとき
- (b) 児童生徒の家庭環境に変化が起きたとき

10. クイーンズランド日本語補習授業校規則

第1章 総則

第1条 本規則は、クイーンズランド日本語補習授業校規則とする。

第2条 本規則は、「クイーンズランド日本語補習授業校運営委員会規約」に基づき、クイーンズランド日本語補習授業校（以下、「補習授業校」という。）の教育に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

第2章 編成

第3条 補習授業校においては、児童に対する初等普通教育、生徒に対する中等普通教育を行うものとする。その他の学級編成については、クイーンズランド日本語補習授業校運営委員会（以下、「運営委員会」という。）が定めることができる。

第4条 前条の児童に対する初等普通教育の課程を小学部、生徒に対する中等普通教育の課程を中学部という。

第5条 補習授業校各部の修業年限は、小学部にあっては6年、中学部にあっては3年とする。

第6条 補習授業校の学校収容定員は、運営委員会が定める。

第7条 各学年の学級数と学級定員の基準は、運営委員会がこれを定める。

第8条 補習授業校の学級は、同学齢児童生徒で編成する。但し、校長が承認した場合は、これによらないことができる。

第9条 学級編成は、校長が定める。

第3章 教育課程

第10条 各学部の教育課程については、以下の通りとする。

（1）小学部の教育課程は、国語・算数によって編成し、日本国文部科学大臣が別に公示した小学校学習指導要領に準ずるものとする。但し、同要領に定めのない場合は、校長が別途これを定める。

（2）中学部の教育課程は、国語・数学によって編成し、日本国文部科学大臣が別に公示した中学校学習指導要領に準ずるものとする。但し、同要領に定めのない場合は、校長が別途これを定める。

第11条 各教科の授業時数等については、以下の通りとする。

（1）小学部の各学年における国語の授業時数は週80分、算数の授業時数は週80分とし、これらの年間授業時数は国語50時間、算数50時間を標準とする。

（2）中学部の各学年における国語の授業時数は週80分、数学の授業時数は

週 80 分とし、これらの年間授業時数は国語 50 時間、数学 50 時間を標準とする。

第12条 児童または生徒が、心身の状況によって履修困難と認めた教科でも、その児童又は生徒の心身の状況に適合するように配慮しなければならない。

第13条 校長は、日本国政府から無償で給付された教科用図書を当補習授業校に在籍する児童および生徒に無償で給付するものとする。但し、無償給付される児童生徒は、原則として総領事館に在留届が提出されていないなければならない。

第14条 校長は、教科用図書以外の図書及びその他の教材で有効かつ適切と認めたものについては、これを使用させることができる。

但し、前項の図書及びその他の教材の選定にあたっては、保護者の経済的負担について考慮しなければならない。

第15条 校長は、第 14 条の規定する教科用図書以外の図書を使用させる場合は、あらかじめ運営委員会の承認を得なければならない。

第 4 章 学習の評価、課程の修了及び卒業

第16条 児童及び生徒の学習評価については、小学校・中学校の各学習指導要領に示されている各教科の目標を基準として、校長がこれを定める。

第17条 小学部、中学部の各学年の課程の修了又は卒業を認めるにあたっては、担任が児童または生徒の成績を評価し、校長が判断し、これを認める。

第18条 校長は、小学部、中学部の全課程を修了したと認められた児童及び生徒には卒業証書を授与する。

第 5 章 学年と学期及び休業日

第19条 学年は、4 月始業式・入学式に始まり、翌年 3 月卒業式・修了式に終わる。

第20条 学期は、クイーンズランド州の就学期間に合わせ、次に掲げる通りとする。

(1) 第 1 学期は、4 月の始業式から 6 月の終業式まで。

(2) 第 2 学期は、7 月の始業式から 9 月の終業式まで。

(3) 第 3 学期は、10 月の始業式から 12 月の終業式まで。

(4) 第 4 学期は、1 月の始業式から 3 月の修了式まで。

第21条 各学年の授業開始の時刻は、別に校長がこれを定める。

第22条 年間の登校日数は、40 日を基準とする。但し、年間の登校日数の変更については、運営委員会の承認を得なければならない。

第23条 授業を行わない日等（以下、「休業日」という。）は、次に掲げる通りとする。

(1) オーストラリア国民の祝日のうち、校長が定める日

(2) イースターホリデー

(3) 冬休み

(4) 春休み

(5) 夏休み

但し、校長は、前項に掲げる休業日等について、同項の規定によりがたい事情があるときには、これを変更することができる。

第24条 非常災害その他の急迫した事情があるときは、校長は臨時に授業の中止又は休業を決定することができる。

第25条 臨時に授業の中止又は休業を決定した場合は、校長はその旨を運営委員会に報告する。

第26条 第6章 教職員

第26条 教職員とは、補習授業校に勤務する校長、教員及び事務職員をいう。

第27条 補習授業校に、校長、教員並びに原則として事務職員を置く。

日本国政府によって任免される在外教育施設派遣教員（以下、「派遣教員」という。）がある場合には、派遣教員を校長として運営委員会が任命をする。2名以上派遣教員がある場合には、運営委員会で協議する。

(1) 校長は、教育活動の全般を総括し、教員を指導する。

(2) 教員は、児童及び生徒の教育活動に当たる。

(3) 事務職員は、運営委員会で定められた事務を行うとともに、校長の指示により事務を行う。

第28条 教員の採用については、校長或いは校長が指名した者がその任に当たり、運営委員会が承認するものとする。又、採用についての細則は別に定める。

第29条 事務職員は、運営委員会が任命する。

第30条 原則として、各学年ごとに担任として教員を1名以上置く。担任人事は校長がこれを定める。

第31条 校長は、校務処理上必要と認める事項について協議する職員会議を置くものとする。

第32条 職員会議は、教職員をもって組織し、校長がこれを招集する。

第33条 教職員（派遣教員を除く。）の服務待遇及び採用に関する事項については、別途定める「教職員の服務に関する規定」によるものとする。

第7章 管理

第1節 財産管理

第34条 校長は、補習授業校の設備管理を総括し、その整備に努め、かつその現有状況を明らかにしなければならない。

第 35 条 校長は、補習授業校の設備が亡失又は毀損したときは、速やかに運営委員会に報告し、その指示を受けなければならない。

第 36 条 校長は、補習授業校の安全管理の計画を作成しなければならない。教職員は校長の定めるところにより、補習授業校の安全管理の任務を分担するものとする。

第 37 条 校長は、運営委員会の承認を得て、補習授業校の設備を社会教育その他公共のために利用させることができる。

第2節 運営管理

第 38 条 校長は、運動会や校外学習などの校外における教育活動の実施にあたっては、その計画をあらかじめ運営委員会に報告しなくてはならない。

第 39 条 校長は、通学時または教育課程の実施にあたり事故が発生した時は、速やかに応急処置をとるとともに、運営委員会に報告しなければならない。

第3節 事務処理

第 40 条 校長は、補習授業校に就学する児童および生徒の指導要録（以下、「学習記録簿」）を作成しなければならない。また、教員は校長の監督指導により前項の学習記録簿を作成するものとする。

第 41 条 校長は、補習授業校に就学する児童および生徒の出席簿を作成しなければならない。また、教員は校長の監督指導により前項の出席簿を作成するものとする。

第 42 条 補習授業校に備える諸表簿等は、次の各号に掲げる通りとし、校長がこれを管理する。

（1）永久保存

- ・ 学校沿革誌
- ・ 補習授業校規約
- ・ 備品台帳
- ・ 卒業生名簿
- ・ 在校生徒数一覧表

（2）7年保存

- ・ 運営委員会記録
- ・ 職員会議記録
- ・ 保護者会記録
- ・ 入学願書・継続申込書
- ・ 学習記録簿
- ・ 会計記録
- ・ 児童・生徒出席簿

- ・教職員出勤簿
- ・政府関係文書
- ・年間指導計画（年間行事予定表）

第4節 教職員管理

- 第43条 教職員の授業日における休暇（以下、「休暇」）は、校長がこれを承認する。但し、校長が休暇を取るときは、運営委員長に届け出、承認を得なければならない。
- 第44条 校長が休業日を利用して区域を離れるときには、運営委員長に届けるものとする。
- 第45条 校長が出張するときは、あらかじめ運営委員会に届け出るものとする。
- 第46条 教職員が、転任・休暇・退職等を命じられたときは、速やかに担当の事務及び保管文書、物品等を後任者又は校長の指定した者に引き継がなければならない。

第8章 入学、退学、転学及び休学

- 第47条 補習授業校に就学及び入学を希望する児童・生徒の保護者は、以下各号の充足を条件に、以下の項に従って子女を就学させることができる。
- (1) 保護者はゴールドコースト日本人会、ブリスベン日本クラブの会員であることを条件とする。
 - (2) 保護者は子女の入学と同時に補習授業校が定める規約、規定、約束を守り、補習授業校が求める各種行事に協力する。
 - (3) 日本国籍を有する子女については、原則として本条各号、各項に従い就学させるものとする。但し、日本国籍を有しない子女については、その子の国籍の如何を問わず、保護者と協議の上、該当学年に就学させることができる。
 - ① 保護者は、その年度の4月2日現在、満6歳に達している子女を小学部に就学させることができる。
 - ② 保護者は、その年度の4月2日現在、満12歳に達している子女を中学部に就学させることができる。
- 第48条 補習授業校に就学及び入学を希望する児童・生徒の保護者は、本校所定の下記申込書類に必要事項を記入し、校長に提出しなければならない。
- ① 入学願書・継続申込書
 - ② 免責証書（和文、英文）

尚、日本から「指導要録の写し」を持ってきた場合には、校長に提出しなければならない。
- 第49条 校長は、第52条を審査の上、第47条に規定する就学及び入学資格を有すると認められた場合には、入学を許可するものとする。尚、入学を許可された児童・生徒は、補習授業校が定める規約、規定、約束を守らなければならない。
- 第50条 他の学校に転学する児童・生徒があり、且つ保護者からの依頼がある場合には、

校長は児童および生徒の在学証明書とその他必要書類を転学先の校長に送付するものとする。

第51条 児童及び生徒が、休学又は退学をする場合には、保護者は校長へその旨を速やかに書面にて申し出るものとする。

第52条 校長は、専門医の指導により、伝染病にかかり、もしくはその恐れがある児童又は生徒の保護者に対し、該当児童・生徒の出席停止を命ずることができる。

第53条 生徒及び保護者は、健全な運営と授業の円滑な進行に協力するものとする。補習授業校、又は、補習授業校事務所で生徒、又は、保護者による暴言・暴力行為・その他補習授業校で定められた規則に反する行為、また、授業の円滑な進行を妨害する行為があった場合は、校長はその不法行為の重大性や反復度を考慮し、自己の判断により、次の処分を行うことができる。

- (1) 叱責、訓戒による口頭注意
- (2) 始末書、誓約書の提出
- (3) 授業への保護者同伴出席の強制
- (4) 停学
- (5) 退学

但し、(1)の措置については、校長以外の教員の判断により行うことができるものとし、(5)の処分を行うに当たっては、校長の判断に加えて、運営委員会の了承を得るものとする。また、上記の処分を行うに当たっては、児童・生徒への教育上必要な配慮を払うものとする。

第9章 入学金および授業料等の徴収

第54条 入学金及び授業料の額については、運営委員会が別に定める。

第55条 保護者は、入学を許可された後、入学金及び授業料等について運営委員会が定めた額を納めなければならない。但し、入学金の納入については、継続して在籍している場合は、児童及び生徒一人につき一回限りとする。学期が開始された後も入学金、又は授業料の納入がない場合、運営委員会は二週間の期限を定めて督促通知を行い、それでも期限までに納入がない場合には、当該生徒の登校を授業料の納入があるまで停止することができる。

第56条 授業料の納入は、一括納入と分割納入の二方法から選択することができる。

第57条 児童及び生徒が、当該学期に一回でも出席した場合は、当該学期分の授業料を納めなければならない。

第58条 児童及び生徒が一時帰国した場合でも、当校に在籍する限り、授業料を納めなければならない。

第59条 児童及び生徒の休学中は、補習授業校に在籍する限り、その期限の授業料は納めなければならない。

第 10 章 附則

第 60 条 この規則は、1994 年 5 月 1 日から発効する。

この規則は、1997 年 10 月 1 日から改正する。

この規則は、2006 年 6 月 1 日から改正する。

この規則は、2009 年 4 月 1 日に第 53 条、第 55 条を改正し、発効する。

この規則は、2013 年 4 月 20 日に第 17 条を改正し、発効する。

第 61 条 この規則の改正は、運営委員会の決議による。

1 1. クイーンズランド日本語補習授業校保護者会規約

第1章 名称

第1条 本会の名称は、「クイーンズランド日本語補習授業校（※）保護者会」とする。

第2章 目的

第1条 日本語補習授業校の教育活動と円滑な学校運営を積極的に支援する。

第2条 生徒の安全で意義ある学校生活を支えるために積極的に協力する。

第3章 構成

第1条 [会員] ブリスベン日本クラブ会員またはゴールドコースト日本人会会員であり、日本語補習授業校に在籍する児童・生徒の保護者で構成され、入学と同時に会員となり、児童生徒の退学によって退会とする。

第2条 [学年委員と役員会]

- (1) 原則として、各学年から連絡名簿の順番に1名の学年委員を選出し、定期総会で決定する。
- (2) 小学部・中学部の学年委員の中から互選により各1名を代表学年委員とする。
- (3) 役員会は、会長1名、副会長（兼会計）1名、代表学年委員2名より構成される。
- (4) 会長・副会長の人選は、事前の立候補を含めて前会長が推薦者を決め、定期総会に承認を求める。また、任期は、原則として1年間とする。

第3条

- (1) 会長は保護者会を代表し、それぞれの総会・役員会を招集、会議を主宰する。
- (2) 会長は、「クイーンズランド日本語補習授業校学校運営委員会」運営委員となる。

第4章 総会

第1条 [運営]

- (1) 定期総会は年1回とする。但し、役員会が必要と認めた時に随時開催することができる。
- (2) 会の成立は全家族の3分の1以上の出席による。
- (3) 決議は出席家族数の過半数の賛成によって決定する。

第2条 会長は総会の決議事項を速やかに「学校運営委員会」に報告する。

第5章 活動

第1条 本会員は具体的に次のことを行う。

(1) 順番制による当番を編成し、次のような授業運営の補助活動を行う。

①鐘鳴らし ②図書整理・貸出補助 ③校内巡回・保全 ④救護

⑤諸連絡・その他

(2) 学校行事における協力活動

(3) バザー等の日本クラブ及び日本人会の行う行事に参加・協力

第6章 予算

第1条 日本人会理事会の承認を得て予算化され、会の運営にあてる。

第7章 細則

会の運営に必要な細則は、役員会において決定する。

附則

(1) この規約は、平成6年(1994年)12月17日総会にて承認、施行された。

(2) 改定 平成10年(1998年)2月7日

注1) 本保護者会規約はクイーンズランド補習授業校全体の保護者会基本規約である。詳細は、この規約に基づき別途作成されたブリスベン校保護者会規則およびゴールドコースト校保護者会規則を参照のこと。

注2) 日本語補習授業校は、授業料、日本政府補助金のほかに日本人会に所属する法人会員や在豪企業からの賛助金を受け、「学校運営委員会」によって運営されています。

12. 年間学習計画概略

(実際には、これらの計画の通りに進行しないことがあります。)

<小学部1年>

学期	月	国語単元	月	算数単元
1 学期	4	・あさ・なんていおうかな ・どんなおはなしか ・どうぞよろしく ・こえのおおきさどうするの	4	・なかまづくりとかず
	5	・うたにあわせてあいうえお ・ことばをつくろう ・えをみてはなそう	5	・なんばんめ ・いくつといくつ
	6	・かきとかぎ ・あさのおひさま ・はなのみち ・ぶんをつくろう ・ねことねっこ ・わけをはなそう	6	・あわせていくつ ・ふえるといくつ
2 学期	7	・おばさんとおばあさん ・くちばし ・おもちゃとおもちゃ ・おもいだしてはなそう ・あいうえおであそぼう ・おおきくなった ・おむすびころりん	7	・のこりはいくつ ちがいはいくつ
	8	・たからものをおしえよう ・㊦㊧㊨をつかおう ・すきなつこと、なかに ・おおきなかぶ ・ほんはともだち ・こんなことをしたよ	8	・10よりおおきいかず ・なんじ なんじはん ・なはなんこさいかな ・どちらがながい
	9	・いちねんせいのうた ・なつやすみのことをはなそう ・ひらがなあつまれ ・ゆうやけ ・かたかなをみつけよう ・うみのかくれんぼ ・かずとかんじ	9	・3つのかずのたしざん ・どちらがおおい ・たしざん
3 学期	10	・くじらぐも ・しらせたいな、みせたいな	10	・たしざん
	11	・まちがいをなおそう ・かん字のはなし ・ことばを見つけよう ・じどう車くらべ	11	・かたひあそび ・ひきざん
	12	・かたかなをかこう ・まのいいりょうし ・むかしばなしがいっぱい ・ともだちにきいてみよう ・日づけとよう日 ・本をえらんでよもう ・ずうっとずっとだいすきだよ	12	・ひきざん ・どちらがひろい
	1	・てんとうむし ・ものの名まえ	1	・おおきいかず

4 学 期		<ul style="list-style-type: none"> ・かたかなのかたち ・てがみでしらせよう 		
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・たぬきの糸車 ・ことばをたのしもう ・これはなんでしょう ・どうぶつのあかちゃん ・にているかん字 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・おおきいかず ・なんじなんぷん
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・だってだつてのおばあさん ・いいこといっぱい一年生 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ずをつかってかんがえよう ・かたちづくり

<小学部2年>

学 期	月	国語単元	月	算数単元
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・じゅんぱんにならぼう ・ふきのとう 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうとグラフ ・たし算のひっ算
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・春がいっぱい ・今週のニュース ・たんぼぼのちえ 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・たし算のひっ算 ・引き算のひっ算
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・かん字のひろば① ・かんさつ名人になろう ・いなばの白うさぎ ・かたかなのひろば ・ともこさんはどこかな 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・長さのたんい ・3けたの数
2 学 期	7	<ul style="list-style-type: none"> ・同じぶぶんをもつかん字 ・スイミー 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・3けたの数 ・水のかさをはかり方とあらわし方 ・時こくと時間
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・かん字のひろば② ・こんなもの見つけたよ ・[コラム] 丸、点、かぎ ・うれしいことば ・お話クイズをしよう ・ミリーのすてきなぼうし ・[コラム] ほんの分けかた、ならべかた ・かん字のひろば③ ・夏がいっぱい 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・計算のくふう ・たし算とひき算のひっ算 ・三角形と四角形
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・おおきくなあれ ・だいすきなものおしえたい ・カンジーはかせの大はつめい ・ことばであそぼう ・どうぶつ園のじゅうい 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・長方形と正方形 ・かけ算
3 学 期	10	<ul style="list-style-type: none"> ・お手紙 ・主語と述語 ・かん字の読み方 ・秋がいっぱい 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・お話のさくしゃになろう ・かたかなで書くことば ・しかけカードの作り方 ・おもちゃの作り方 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・あったらいいな こんなもの ・にたいみのことば、はんたいのことば ・わたしはおねえさん 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算

		<ul style="list-style-type: none"> ・かん字のひろば④ ・冬がいっぱい 		
4 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・てのひらを太陽に ・ようすをあらわすことば ・見たこと、かんじたこと ・三まいのおふだ ・おにぎっこ 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算 ・おぼえているかな ・4けたの数
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・かん字のひろば⑤ ・みんなできめよう ・なかまのことばとかん字 ・スーホーの白い馬 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・長いものの長さのたんい ・たし算とひき算 ・分数
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・スーホーの白い馬 ・ことばを楽しもう ・楽しかったよ二年生 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・はこの形 ・2年の復習

<小学部3年>

学 期	月	国語単元	月	算数単元
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・よく聞いて、じこしょうかい ・どきん ・きつつきの商売 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・きつつきの商売 ・国語辞典のつかい方、漢字の音と訓 ・春の楽しみ ・よい聞き手になろう ・きちんとつたえるために ・こそあど言葉 ・漢字の広場① 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・時こくと時間のもとのめ方 ・長いものの長さのはかり方 ・わり算
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉で遊ぼう ・こまを楽しむ ・俳句を楽しもう ・気になる記号 ・符号など ・漢字の広場② 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・たし算とひき算の筆算 ・暗算
2 学 期	7	<ul style="list-style-type: none"> ・たのきゅう ・夏のたのしみ ・もうすぐ雨に 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・あまりのあるわり算 ・大きい数のしくみ
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう」をつたえよう ・漢字の広場③ ・本を使って調べよう ・里山は本来の風景 ・本の分類表 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算の筆算
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしと小鳥とすずと ・山のとっぺん ・つたえよう、楽しい学校生活 ・インタビュー ・へんとつくり ・秋の楽しみ 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・大きい数のわり算 ・小数
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字 ・ちいちゃんのかげおくり 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・重さのたんいとはかり方

3 学期		<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の広場④ ・修飾語 ・秋の楽しみ 		
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・すがたをかえる大豆 ・絵や写真を使ってせつめいする ・食べ物のひみつを教えます ・短歌をたのしもう ・漢字の意味 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・円と球 ・分数
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・三年とうげ ・たから島のぼうけん ・漢字の広場⑤ ・言葉を分類する ・冬の楽しみ 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・分数 ・口を使った式
4 学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・雪 三好達治 ・ゆき 草野心平 ・雪 山村暮鳥 ・ありの行列 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算の筆算
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・しりょうから分かる、小学生のこと ・見せながら話すときには ・コンピューターのローマ字入力 ・カンジーはかせの音訓かるた ・ことわざについて調べよう ・漢字の広場⑥ 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形と角 ・ぼうグラフと表
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・モチモチの木 ・わたしの三大ニュース 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・そろばん ・3年のふくしゅう

<小学部 4年>

学期	月	国語単元	月	算数単元
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ばらばら言葉を聞き取ろう ・春のうた ・白いぼうし 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・折れ線グラフと表
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・白いぼうし ・漢字の組み立て 漢字辞典の使い方 ・春の風景 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・角の大きさ ・わり算の筆算
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい話し合いをしよう ・話す言葉は同じでも ・大きな力を出す ・動いて考えてまた動く ・漢字の広場① ・短歌・俳句に親しもう(一) 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・わり算の筆算 ・垂直・平行と四角形
2 学期	7	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を作ろう ・アンケート調査のしかた ・新聞にのせる写真や図を選ぶときは ・いろいろな意味をもつ言葉 ・ふるやのもり 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・垂直・平行と四角形 ・大きい数のしくみ
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの花 ・夏の風景 ・自分の考えをつたえるには 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・そろばん ・わり算の筆算

		<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の広場② ・「読むこと」について考えよう ・かげ ・読みたい本の見つけ方 		
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れもの ・ぼくは川 ・カンジーはかせの漢字しりとり ・だれもが関わり合えるように ・手と心で読む ・調べて発表しよう 	9	・わり算の筆算
3 学 期	10	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の広場③ ・ごんぎつね ・秋の風景 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・がい数の表し方 ・計算のきまり
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・慣用句 ・アップルとルーズで伝える ・言葉で変わる写真の印象 ・「クラブ活動リーフレット」を作ろう 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・面積のはかり方と表し方 ・小数のしくみ
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌・俳句に親しもう（二） ・プラタナスの木 ・漢字の広場④ ・文と文をつなぐ言葉 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・小数のしくみ ・変わり方調べ
4 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・のはらうた ・野原に集まれ ・冬の風景 ・ウナギのなぞを追って ・漢字の広場⑤ 	1	・小数のかけ算とわり算
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りメモの工夫 ・熟語の意味 ・わたしの研究レポート ・まちがえやすい漢字 ・初雪のふる日 	2	・分数
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の広場⑥ ・十年後のわたしへ 	3	・直方体と立方体

<小学部5年>

学 期	月	国語単元	月	算数単元
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・おしえてあなたのこと ・ふるさと ・あめ玉 ・5年生の学習に生かそう 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・整数と小数 ・直方体や立方体の体積
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・なまえをつけてよ ・漢字の広場① ・春の空 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・比例 ・直方体や立方体の体積 ・小数のかけ算

		・新聞を読もう		
	6	・漢字の成り立ち ・見立てる ・生き物は円柱形 ・漢字の広場② ・古典の世界（一） ・きいて、きいて、きいてみよう	6	・小数のかけ算 ・小数のわり算
2 学期	7	・敬語 ・広がる、つながる、わたしたちの読書 ・千年の釘にいどむ	7	・小数のわり算 ・合同な図形
	8	・著作権について知ろう ・漢字の広場③ ・夏の夜 ・次への一歩 活動報告書	8	・合同な図形 ・偶数と奇数、倍数と約数 ・分数と小数、整数の関係
	9	・からたちの花 ・カンジー博士の暗号解読 ・日常を十七音で ・和語、漢語、外来語	9	・分数のたし算とひき算 ・単位量あたりの大きさ
3 学期	10	・明日をつくるわたしたち ・意見が対立したときには ・漢字の読み方と使い方 ・大造じいさんとガン	10	・図形の角
	11	・漢字の広場④ ・秋の夕暮 ・天気を予想する ・グラフや表を読む	11	・四角形と三角形の面積
	12	・グラフや表を用いて書こう ・同じ読みの漢字 ・文の組み立て ・百年後のふるさとを守る ・古典の世界（二） ・分かりやすく伝える	12	・四角形と三角形の面積
4 学期	1	・詩の楽しみ方を見つけよう ・想像力のスイッチを入れよう ・直接対面しない相手とのやり取りでは	1	・百分率とグラフ
	2	・漢字の広場⑤ ・見るなのざしき ・すいせんします ・複合語 ・冬の朝	2	・百分率とグラフ ・正多角形と円周の長さ
	3	・わらぐつの中の神様 ・方言と共通語 ・一枚の写真から ・漢字の広場⑥ ・六年生になったら	3	・分数のかけ算とわり算 ・角柱と円柱

<小学部6年>

学期	月	国語単元	月	算数単元
1 学期	4	・つないで、つないで、一つのお話 ・支度	4	・対称な図形 ・円の面積
	5	・カレーライス ・漢字の広場① ・春のいぶき ・笑うから楽しい ・時計の時間と心の時間	5	・円の面積 ・文字と式 ・分数のかけ算
	6	・学級討論会をしよう ・伝えにくいことを伝える ・漢字の形と音、意味	6	・分数のかけ算 ・分数のわり算
2 学期	7	・私と本 ・森へ ・施設を利用して本の世界を広げよう ・漢字の広場②	7	・分数のわり算
	8	・河鹿の屏風 ・夏のさかり ・ようこそ、私たちの町へ ・「とんぼ」の俳句を比べる ・漢字の広場②	8	・角柱と円柱の体積 ・およその面積や体積
	9	・せんねん まんねん ・熟語の成り立ち ・たのしみは ・漢字の広場③	9	・比と比の値
3 学期	10	・未来がよりよくあるために ・<資料>平和のとりでを築く ・漢字の広場④ ・生活の中の言葉 ・やまなし ・[資料]イーハトーブの夢	10	・拡大図と縮図
	11	・秋の深まり ・『鳥獣戯画』を読む ・絵画や写真を見るときは ・この絵、わたしはこう見る ・漢字を正しく使えるように	11	・速さ
	12	・覚えておきたい言葉 ・伝えられてきたもの ・狂言 柿山伏 ・柿山伏について ・日本で使う漢字	12	・比例と反比例
4 学期	1	・漢字の広場⑤ ・表現を選ぶ ・天地の文 ・未知へ ・自然に学ぶ暮らし	1	・並べ方と組み合わせ方
	2	・漢字の広場⑥ ・忘れられない言葉 ・カンジ博士の山登り	2	・資料の調べ方

		<ul style="list-style-type: none"> ・春を待つ冬 ・海の命 		
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今、わたしは、ぼくは ・生きる ・生き物はつながりの中に ・かなえられた願い 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・量の単位のしくみ ・算数卒業旅行

< 中学部 1 年 >

学期	月	国語単元	月	数学単元
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉に出会うために～学習指導 ・野原はうたう ・情報を正確に聞き取ろう ・話し言葉と書き言葉／季節のしおり春 ・にじの見える橋 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数 0より小さい数 正の数・負の数で量を表すこと 絶対値と数の大小 正の数・負の数の加法、減法
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・友達をみんなに紹介しよう ・大根は大きな根？ ・ちょっと立ち止まって 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数 加法の計算法則（交換法則と結合法則） 正の数・負の数の計算（減法） 加法と減法の混じった計算 正の数・負の数の乗法 正の数・負の数の除法
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすく説明しよう ・スピーチ名人になろう ・漢字の組み立てと部首 ・はじめての詩 ・豊かな言葉～詩四編 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数 乗法と除法の混じった計算 同じ数の積 四則、分配法則 数の広がりとは四則計算 1章の基本のたしかめ ・文字の式 数量を文字で表すこと 文字式の表し方 文字式の数量
2 学期	7	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のまとまりを考えよう ・豊かな言葉～言葉を集めよう ・おいしい読書 ・雪とパイナップル ・江戸からのメッセージ／季節のしおり夏 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の式 「式の値」「項と係数」 「一次式の加法、減法」 「文字式と数の乗法、除法」 「かっこがある式の計算」
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・星の花が降る ・大人になれなかった弟たちに ・指示する語句と接続する語句 ・項目を整理して伝えよう 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の式 「等しい関係を表す式」 「大小関係を表す式」 「2章の基本のたしかめ」 ・方程式 「方程式のその解」「等式の性質」 「方程式の解き方」「いろいろな方程式」「比と比例式」、 「方程式の利用」
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・シカの「落ち穂拾い」 ・季節のしおり秋／いろは歌・七夕に思う ・書写～硬筆・楷書 ・蓬萊の玉の枝 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式 「3章の基本のたしかめ」 ・変化と対応 「関数」「比例の式」「座標」
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・変化と対応 「比例のグラフ」「反比例の式」

3 学期		・だれが・何を・どうする？		「反比例のグラフ」「比例の利用」「反比例の利用」
	11	・話題をとらえて話し合おう ・流水とわたしたちの暮らし ・漢字の音訓音・訓の由来を知る ・調べたことを報告しよう	11	・平面図形 直線と線分、直線が交わってできる角、垂直と平行、平行移動、回転移動、対称移動、基本の作図(1)垂直二等分線、基本の作図(2)角の二等分線、円とおうぎ形の性質
	12	・少年の日の思い出	12	・空間図形 立体をなかま分けしよう いろいろな立体、
4 学期	1	・さまざまな表現技法 ・感じたことを文章にしよう	1	・空間図形 空間内の平面と直線 直線と平面の位置関係
	2	・感じたことを文章にしよう ・単語の性質を見つけよう ・季節のしおり冬／書写～硬筆・行書 ・言葉を探検する	2	・空間図形 立体の表面積、立体の体積、球の体積、表面積
	3	・言葉を探検する ・漢字の成り立ち ・木は旅が好き	3	・資料の活用 度数分布、相対度数、代表値と散らばり、資料の分布と代表値、散らばり、近似値と有効数字

< 中学部 2 年 >

学期	月	国語単元	月	数学単元
1 学期	4	・明日 ・アイスプラネット	4	・式の計算 世界一周道路をつくろう、単項式と多項式、次数と同類項、多項式の加減、いろいろな計算
	5	・「書写～硬筆・楷書」 ・「季節のしおり 春」 ・枕草子 ・説明のしかたを工夫しよう ・言葉 1 ・やさしい日本語	5	・式の計算 単項式の乗除の混じった計算、文字式の利用、等式の変形、基本のたしかめ、章末問題、 ・連立方程式
	6	・印象に残る説明をしよう ・新しい短歌のために	6	・連立方程式 連立方程式の解き方、いろいろな連立方程式の解き方、連立方程式の利用
2 学期	7	・言葉を選ぼう ・単語をどう分ける？ ・メディアと上手に付き合うために	7	・連立方程式 連立方程式のまとめ ・一次関数 一次関数、一次関数の値の変化

	8	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる「あの人」を探ろう ・旅する絵描き ・五重の塔はなぜ倒れないか ・季節のしおり夏 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・一次関数 一次関数のグラフ、一次関数のグラフの傾き、一次関数のグラフのかき方、一次関数の式を求めること、二元一次方程式のグラフをかく、連立方程式とグラフ、一次関数の利用
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・盆土産 ・字のない葉書 ・敬語 ・気持ちを込めて書こう 	9	一次関数 一次関数の利用、基本の確かめ、3章の章末問題、 <ul style="list-style-type: none"> ・図形の調べ方 平行線と同位角、錯角
3 学 期	10	<ul style="list-style-type: none"> ・季節のしおり ・君は「最後の晚餐」を知っているか ・音読を楽しもう ・扇的 ・仁和寺にある法師 	10	図形の調べ方 三角形の内角と外角、多角形の内角、多角形の外角、正多角形の1つの内角、図形の合同、三角形の合同条件、三角形の内角と外角、多角形の内角、多角形の外角、正多角形の1つの内
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の風景 ・話し合って考えを広げよう ・走る。走らない。走ろうよ。 ・モアイは語るー地球の未来 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の調べ方 三角形の合同条件の利用、証明、証明とそのしくみ、三角形の合同条件を利用した証明、基本のたしかめ、4章の章末問題、 <ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質と証明 二等辺三角形、逆、正三角形、
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・季節のしおり冬 ・立場と根拠を明確にして書こう 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質と証明 直角三角形の合同、直角三角形の合同条件の利用、平行四辺形の性質
4 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ訓・同じ音をもつ漢字 ・書写 硬筆、行書 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質と証明 平行四辺形になる条件
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・走れメロス ・一字違いで大違い ・表現のしかたを工夫して書こう ・方言と共通語 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質と証明 長方形・ひし形・正方形、平行線と面積、5章の基本のたしかめ、5章の章末問題

		・送り仮名		・確率 確率、確率の意味
	3	・身近な人の「物語」を探る ・言葉の力 ・漢字の練習	3	・確率 確率の求め方、6章の基本のたしかめ、6章の章末問題、

< 中学部 3年 >

学期	月	国語単元	月	数学単元
1 学期	4	・季節のしおり春／朝焼けの中で ・握手	4	・式の展開と因数分解 きまりを見つけよう、式の乗法、除法、乗法公式 $(x+a)$ $(x+b)$ 平方の公式
	5	・説得力のある考えを述べよう ・和語・漢語・外来語 ・評価しながら聞こう	5	・式の展開と因数分解 いろいろな式の展開、素因数分解の意味、因数分解、いろいろな因数分解、式の計算の利用
	6	・月の起源を探る ・推敲して、文章を磨こう ・自分の魅力を伝えよう	6	・式の展開と因数分解 1章の基本のたしかめ、1章の章末問題、 ・平方根 面積が半分の正方形、平方根の意味、平方根の大小と値、有理数と無理数、根号をふくむ式の乗法、除法、根号のきまり
2 学期	7	・熟語の読み方 ・俳句の可能性 ・言葉を使おう ・すいかは幾つ必要？	7	・平方根 根号をふくむ式の加減、根号をふくむ式のいろいろな計算、2章の基本のたしかめ、2章の章末問題、 ・二次方程式 二次方程式とその解き方
	8	・蝉の声 ・高瀬舟 ・光で見せる展示デザイン ・季節のしおり 夏 ・挨拶	8	・二次方程式 二次方程式の解の公式、二次方程式と因数分解、二次方程式の解法のまとめ、二次方程式の利用、3章の基本のたしかめ、3章の章末問題、 ・関数 $y=ax^2$ 関数 $y=ax^2$ 、関数 $y=ax^2$ のグラフ
	9	・故郷 ・話し合いを効果的に進めよう ・文章の形態を選んで書こう	9	・関数 $y=ax^2$ 関数 $y=ax^2$ のグラフのかき方、関数 $y=ax^2$ のグラフの特徴、関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域、関数 $y=ax^2$ の変化の割合、関数 $y=ax^2$ の利用、いろいろな関数、
	10	・文章の形態を選んで書こう ・慣用句・ことわざ・故事成語／季節のしおり 秋	10	・関数 $y=ax^2$ 4章の基本のたしかめ ・図形と相似

3 学 期		<ul style="list-style-type: none"> ・古今和歌集 仮名序 ・書写～硬筆・行書と仮名 		相似の導入・相似な図形の性質、相似比、三角形の相似条件、三角形の相似条件の利用、三角形の相似条件を使った証明
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・君待つと ・夏草 ・古典の伝統 ・お薦めの古典を贈ろう ・論理の展開に着目して読もう ・課題解決に向けて話し合おう 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・図形と相似 三角形の相似条件を使った証明、平行線と線分の比、平行線には含まれた線分の比、線分の比と平行線、拡大図と縮図、中点連結定理、相似な図形の面積、相似な立体の表面積・体積、
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて話し合おう ・「ない」の違いがわからない？ ・ネット時代のコペルニクス 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・図形と相似 相似な立体の表面積・体積、5章の基本のたしかめ、5章の章末問題、 <ul style="list-style-type: none"> ・円の性質 円の性質
4 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット時代のコペルニクス 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・円の性質 円周角の定理の逆、円の性質の利用、質の利用円の性質の利用 ①（円周角の定理を使用した証明を理解する） ○ 67 円の性質第6章の基本のたしかめ
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の造語力 ・三年間の歩みを編集しよう ・季節のしおり冬 ・学びて時にこれを習ふ ・音読して古典の響きを味わう。 ・アラスカとの出会い 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・円の性質 円の性質の利用、6章の基本のたしかめ <ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理 三平方の定理の導入・三平方の定理、三平方の定理の逆、平面図形への利用1、平面図形への利用2、平面図形への利用3
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・温かいスープ ・聴くということ ・わたしを束ねないで ・漢字のまとめ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理 空間図形への利用1、空間図形への利用2、7章の基本のたしかめ、 <ul style="list-style-type: none"> ・標本調査 全数調査と標本調査、母集団と標本、標本調査の活用、8章の基本のたしかめ、章の章末問題